

放流用ヒメマス種苗生産指導

福島県内水面水産試験場 生産技術部
平成17年事業報告

1 部門名 水産業－内水面(増養殖)－種苗生産、その他魚種

分類コード 19-09-19650000

2 担当者 神山 享一

3 要旨

沼沢湖への放流用ヒメマス種苗の生産を漁業協同組合が自営で行うこととなったため、ふ化施設の準備から発眼卵の収容、稚魚の放養、取り上げに至るまでの各飼育段階において8回の現地指導を実施した。

平成16年12月9日に北海道から購入した発眼卵は115千粒で、水温10℃の地下水を用いて約50日の卵管理を行い、ふ化率99%以上と良好であった。

金山町水沼地区に設置したふ化場では面積約10㎡の屋内の水槽で体重約0.8gまで飼育し、その後放流までの間は約50㎡の屋外池を使用して飼育を行った。

飼育水は水温9～10℃の地下水で、毎分100ℓ以上の安定した水量が得られ、かつ降雨時にも濁らない良質なもので、ヒメマス稚魚の育成には最適であった。

飼育期間中においては疾病等によるへい死もなく、池出しから湖への放流まで約3ヶ月間の生残率は94.1%と極めて良好であった。

平成17年5月7日に体重2.03gの稚魚、約108千尾(総重量221.3kg)を放流した。

飼育期間を通しての給餌量は181kgで飼料効率は118.9%と良好であった。

生産経費は、1,753千円となった。従来は養殖業者に生産委託しており、100千尾当たり約2,300千円の経費であったことから、約550千円の経費節減となった。

4 その他の資料など

なし